



第634号

発行所

天理教静岡教務支庁

〒425-0013

焼津市岡当日1番地

TEL (054) 626-1333

FAX (054) 628-4615

Email:skyou@live.jp

教区報は、下のQRコードより、スマートフォン等で、ご覧頂けます。



教区全体会議開催

五月三十日午前十一時四十分より教務支庁にて会議が開催された。

今回も支部長と各支部代表一名の地方委員、各会代表者のみ出席による全体会議となった。親神様・教祖・祖霊様礼拝後、芹澤常太郎教区長室長の進行で議事が進められた。冒頭、挨拶に立った鈴木道輝教区長は、参集した役職者一同に対し、真柱様の年頭ご挨拶のお言葉を引用された上で、「コロナやウクライナの事情を始め世界にお見せ頂く事情は皆、神様のなさること、我が事としての思案が大事であります。コロナ禍の中でたすけ一条に向

かう御用、陽気ぐらしへ向かう御用の動きが滞ってしまいました。これから足りない分の理をしつかりと伏せ込むという方向へ舵を切つていかなければならぬと思います。」と述べられ、さらに

「先月の『全教一斉ひのきしんデー』では、それぞれの支部がしっかりと勤めてくださつたと、大変嬉しい姿、勇ませていただく姿をお与えただけで有難いと思わせていただきました。又、来年の一月からはいよいよ教祖百四十年祭へ向かう年祭活動が始まります。これから足りない分の理をしつかりと伏せ込

み、来年の一月、お互い様、スタートラインに立たせていただき、三年千日のスタートすることができまますよう、今後教区でもまた支部においても陽気ぐらしの動き、地域が一手一つとなる動きをだんだんと相談させていただきたいと思っております。どうか、ご理解お力添えの程お願いいたします。」と話された。

続いて教区長司会のもと、令和二年度の教務支庁の決算審議が進められ、守屋真和書記より内容の発表、説明があり、この件について出席地方委員の全会一致で可決・承認された。次に鈴木理一災害対策委員長より災害準備金の決算の説明、さらに、郷内一衛主事よ

続いて鈴木芳秋教務部長より、県庁提出書類の件、そして今年が五年に一度の責任役員任期満了の年であること、また管内教会における法人の吸収合併手続きについての注意事項などの、説明がなされた。

次に今期新任となつた大谷安則布教部長より、教区活動は徳積み、励まし合いとたすけあいと聞かしていただき、皆さんが勇んでつとめられるよう勤めさせて頂きたいとあいさつ。そして全教一斉ひのきしんデーの報告、また提唱九十年を迎える全教一斉にをいがけデーにしっかりとバツクアップしたいと述べた。

刈り機を使用する場合、安全講習を履修し修了証を取得した者でなければ使用が認められなくなることを説明。災害隊の訓練では隊員に有資格者が多く、実際の出勤では使用の機会はない。刈払機を実際に使う場合は支部活動が多く、現在、インターネットなどで講習費用も安くなつてきているので、安全講習を是非受講していただきたい、との話があった。

その後、教区長の手に合わせて親神様、教祖、祖霊様を礼拝して終了した。



学生層育成者講習会



全体会議が行われた五月三十日、静岡教区学生担当委員会は「学生層育成者講習会」を開催しました。

本講習会は、教区管内の教会長、ならびに各部各会の先生方に学生層育成の重要性を認識していただき、教区内に学生層育成の気運を高めることを目的に開催されます。コロナ禍で数年間開催できていなかったため、久しぶりに開催できて大変うれしく思います。

先生は「学生への声掛けは、にをいがけ・おたすけ」とのテーマの元、教会長である父親から「春の学生おぢばがえり」に何度も何度も誘ってもらったこと。そして、その声掛けが後の自身の成長につながり、現在教会長としてつとめる基になったこと。ある信者さんに先生自身が「学生生徒修養会」にお誘いし、なかなか良い返事してもらえない中でもあきらめずに誘い続け、ついに参加を決心された時の喜び。そして、その子が学生会活動を通して心の向きが変わり、性格もその後の運命も明るく変わっていったこと。更には、教祖百四十年祭に向けて一人でも多くの学生に声をかけることの大切さ、必要性を熱心にお話してくださいました。

まなびば事前研修会

学生層育成者講習会に引き続き、学生担当委員会では「まなびば事前研修会」を開催しました。これは本年八月十九、二十日（静岡）と十一月二十七日（おぢば）に開催予定の「まなびば」の事前研修で、吉村先生をはじめ本部から三名のスタッフにお越し頂いて学生担当委員会の委員、支部委員が実際のプログラムを体験し、グループワークのねらいや進め方などを学びました。プログラムは高校生、大学生などを対象としているため、年齢を大



幅に超過した委員が体験するには若干（？）の違和感はあるものの、プログラムを進めると不思議と自然と会話が進んで仲が良くなり、力を合わせ課題を班ごとクリアする喜びなどを感じ、大人でも大いに楽しめました。

これが学生層が対象なら大いに受け入れられ、みんな仲良くなってお道が大好きになることは間違いありません！何より、後々まで続く人間関係が築けることがとても魅力的です。一つひとつのプログラムには狙いがあったて、全てのプログラムを終



えると「たすけあい」に繋がります。陽気ぐらしのキーワードの一つである「たすけあい」は、お道の人のみならず世界中の方に理解し心に治めてもらいたい大切なことです。特に、今ある世の憂いを治めるには欠かせない心遣いです。そ

の角目を「まなびば」で自然のうちに触れて習得できることは、参加者のその後に大いに役立つことでしょう。高校、大学、専門学校に通う方が身近にいたのであれば、ぜひ「まなびば」に参加させて下さい！その誘いの声をかけるのが、今『教区報』のこの記事を読んでいらっしゃる皆さんです。

吉村先生ではありませんが、学生さんの未来を決める熱い声かけを、そして学生会、学生担当委員会をこれからもよろしくお願い致します。

提唱90周年		
全教一斉ひのきしんデー集計		
	会場数	合計
東伊豆	3	116
伊豆	4	95
駿豆	1	389
富士	1	187
東駿	1	228
中駿東	4	121
中駿西	1	176
西駿	6	311
中遠	7	292
西遠	1	357
北遠	1	144
教区合計	30	2416

※前号掲載の北遠支部のひのきしん会場は、浜北アリーナでした。お詫びして訂正いたします。

新任・教会長に就任して

富士支部

山名大教会部属

吉原分教会五代会長

篠原 道代



立教百八十五年一月二十六日、ご存命の教祖より、天理教吉原分教会五代会長の理のお許しを頂戴致しました。コロナ禍であり、感染症拡大防止に苦心工夫しながら、当教会につながる諸先輩方、信者様、親戚の皆様のお助けをお借りして、無事に奉告祭を執り行わさせて頂きました。

当教会は、明治二十八年五月に設立されました。明治二十四年頃、初代会長は、妻の身上をおたすけ頂き、その

不思議な御守護に感激し入信。神恩に報いる道として布教に携わり、当時の富士郡下の布教に専念されたと伝えられています。

富士市吉原のこの場所、約百三十年の間、歴代の会長様、用木、信者の皆様方のおかげで教会を守り続けさせて頂いて参りました。

この度は、教会の元一日を振り返り、歴史に触れ、改めて代を重ねて引き継がせて頂く重責に身の引き締まる思いです。

おさしづに、「最初一つの理より変わらん理で押せば変わらん」

(明治二十八年十二月十八日)

と、仰せくださいますように、初代会長様の思い「感激と素直さ」を受け継ぎ、初心を忘れず、微力ではありますが、与えられた立場を精一杯つとめさせて

いただきたいと存じます。

おちばでの講習会や、

大教会の活動目標でも、「教への習得」を強く

望まれています。これを機会に教会にある沢山の書物を読む事から始め、少しでも知識を

深めていきます。コロナ禍に於いても、パンフレット配りや、ひの

きしんで身体を動かすなど、人との距離を気にせずやらせて頂ける事も沢山あります。

他の目標でもある

「こまやかな丹精」

「たすけを求める人に向かうおたすけ活動」にもに役立てる事が出来るよう、出来る事から始めさせて頂きます。

まだまだ、未熟で至らないところだらけであります。足りない点は幾重にもご指導頂き、

今後ともお力添え賜りますようよろしくお願い申し上げます。

東駿支部婦人会総会

東駿支部婦人会は五月三十一日、興津分教会にて委員長・会員二十七名が参加して、三年ぶりに第四十四回総会を開催した。

感染症の終息を願い座りづとめ、よろづよ八首をつとめ、新主任池田和代さんが教えを

実行する事が大事であり、道の子を道の子らしく、又、今自分にながだきめるのかと婦人会長様のお言葉を引用し、開会挨拶をされた後、山名大教会長諸井道隆先



生のコロナ禍の節にあたっての、DVDを鑑賞した。

前主任山梨恵子さんが、真剣におつとめをつとめ、心を澄まし陽気ぐらしの台となるよう、日々勇んでつとめ通らせて頂きましよと述べられ、閉会した。

夏休み期間中のおちばの愛入こいこ

本年も「夏休みこどもひのきしん」を提唱し、教会や地域、家庭において少年会員がひのきしんの喜びを味わえる夏となるよう取り組めます。また、おちばでは「夏休みこどもひのきしん」の取り組みの一環として「ひのきしんセンター」を設けて、ひのきしんの受付をさせて頂きます。そして、帰参した子供たちに、教えに触れてもらい、楽しめる場をわざわざありませんが、用意させて頂きます。おちばにお帰りの際には、どうぞご活用下さい。

○期間

七月二十六日～八月二十八日

※各会場によって開催日、開催時間は異なります。決定次第随時お知らせ致します。

おどろおどろ
おどろおどろ
おどろおどろ

夏休み 子どもひのきしん

毎日元気に過ごせるのは、
親神様のおかげだね。
だから感謝の心で
ひのきしん！
家族で、教会で、ご近所で
喜びいっぱいの気持ちを
みんなでひろげよう！！

夏休み子どもひのきしんの
説明はここから！

◎会場
・ひのきしんセンター
(インフォメーションセンター北側)
受付時間九時～十六時
夏休み子どもひのきしんの実践の場として、おどろおどろでは廻廊ひのきしんを中心に、境内地のひのきしんを準備しています。

◎ピッキーひろば
クイズラリーや水を使った遊びを用意しています。お茶所内では幼児コーナーもあり、ご休憩頂くことができます。

・南右第二棟
◎ほんわかシアター
(地下一階)
ほんわか村のアニメーションを通して「三つの約束」について学びます。

◎ピッキーとリボンの宇宙探検(地下二階)
サカサマダンジョンや色々な仕掛けがある巨大迷路を楽しみながら探検するアトラクションです。

◎みちの子作品展(一階)
※詳細はみちの子作品展の募集要項をご確認下さい。

◎みちのこサマーステージ(陽気ホール)
様々な特技を持った少年会員を募り、ステージ上で披露する場です。また、パフォーマーのステージショーもお楽しみ頂けます。日程によっては高校生たちが演奏やダンスを披露してくれます。

・天理参考館
◎おやささ謎解きウォーク in 参考館
天理参考館を会場に、館内に多数ある素晴らしい展示物を見学しながら、謎解きカードを集め、隠された秘密を解き進めていく謎解きゲームです。

